

2024年8月期 第2四半期 (2023年9月～2024年2月)

# 決算説明会

株式会社アドテックプラズマテクノロジー  
東証スタンダード  
証券コード：6668



# 2024年8月期 第2四半期連結業績

## ▶ 連結売上高 47億円（前年同期比 ▲18.5%）

- 半導体装置向けの受注環境の改善の兆しはなく、引き続き顧客からの製品出荷時期の後ろ倒し要請があるなど、取り巻く環境は低調に推移したが、スマートフォン等のディスプレイ向け成膜装置メーカーからの受注を獲得
- 研究機関・大学関連事業（IDX）においては、シリコンウエハ引上用装置向け電源の出荷等があったものの、定期点検等の保守サービス案件は少なく、売上高は低調に推移

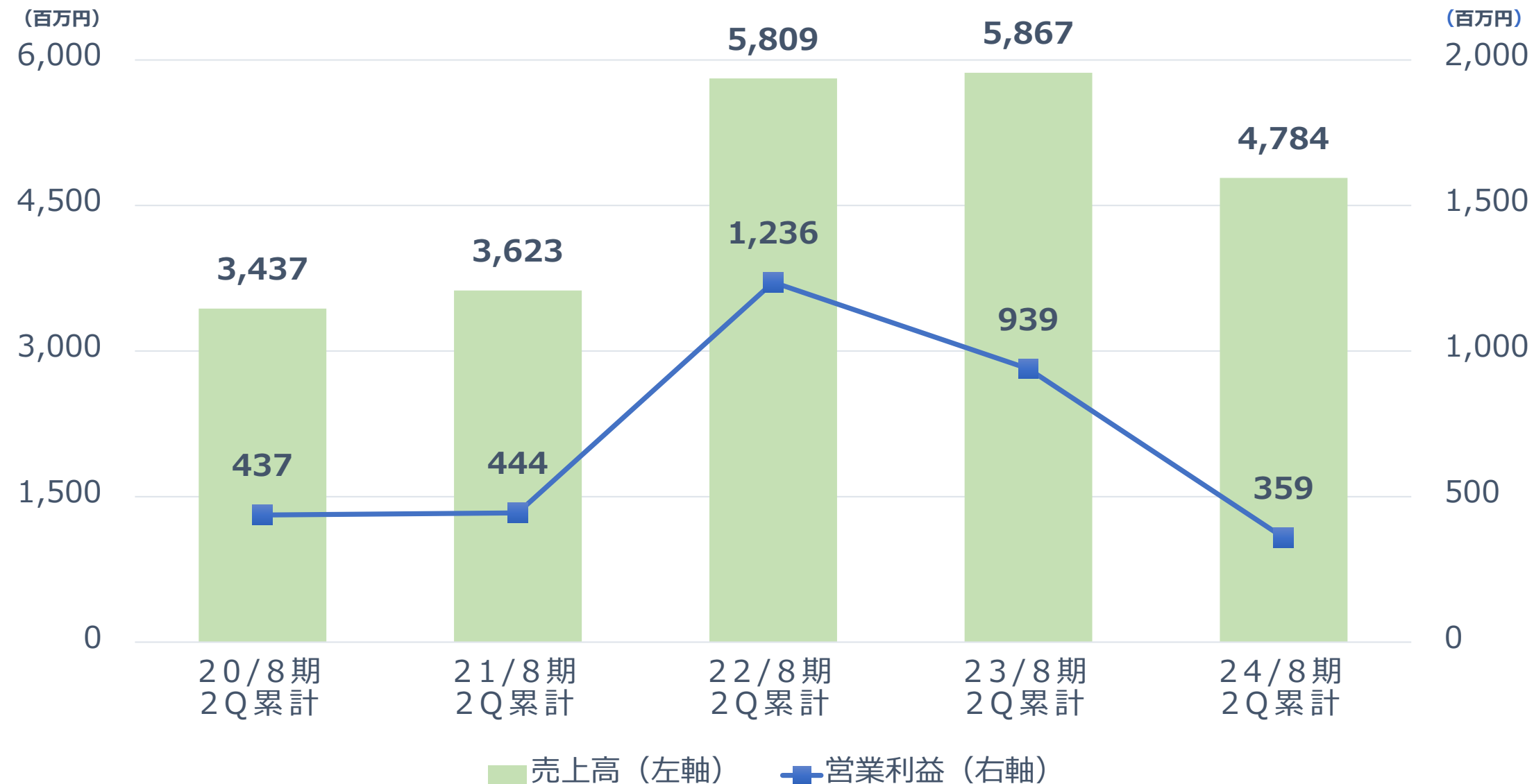
## ▶ 連結営業利益 3.5億円（前年同期比 ▲61.8%）

- 売上高の減少及び資源・エネルギー価格の高騰によるコスト上昇と生産稼働率の低迷により大幅減益

# 連結業績概要

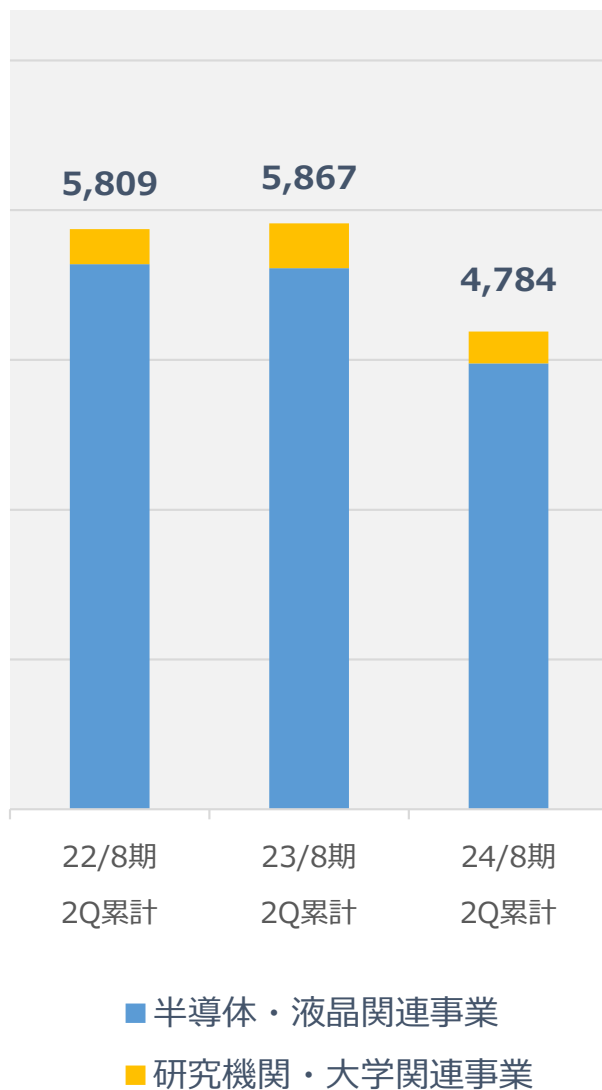
(単位：百万円)	23/8期 2Q累計実績	24/8期 2Q累計実績	前年同期比 (増減率)	予想比	
				24/8期 2Q累計予想	増減 (増減率)
売上高	5,867	4,784	▲1,083 (▲18.5%)	5,600	▲816 (▲14.6%)
売上総利益	2,341	1,721	▲620 (▲26.5%)	-	-
営業利益	939	359	▲580 (▲61.8%)	870	▲511 (▲58.7%)
経常利益	810	338	▲472 (▲58.3%)	820	▲482 (▲58.8%)
親会社株主に 帰属する 当期利益	593	164	▲429 (▲72.2%)	600	▲436 (▲72.7%)

# 連結売上高・営業利益の推移



## セグメント別売上高推移

(単位：百万円)

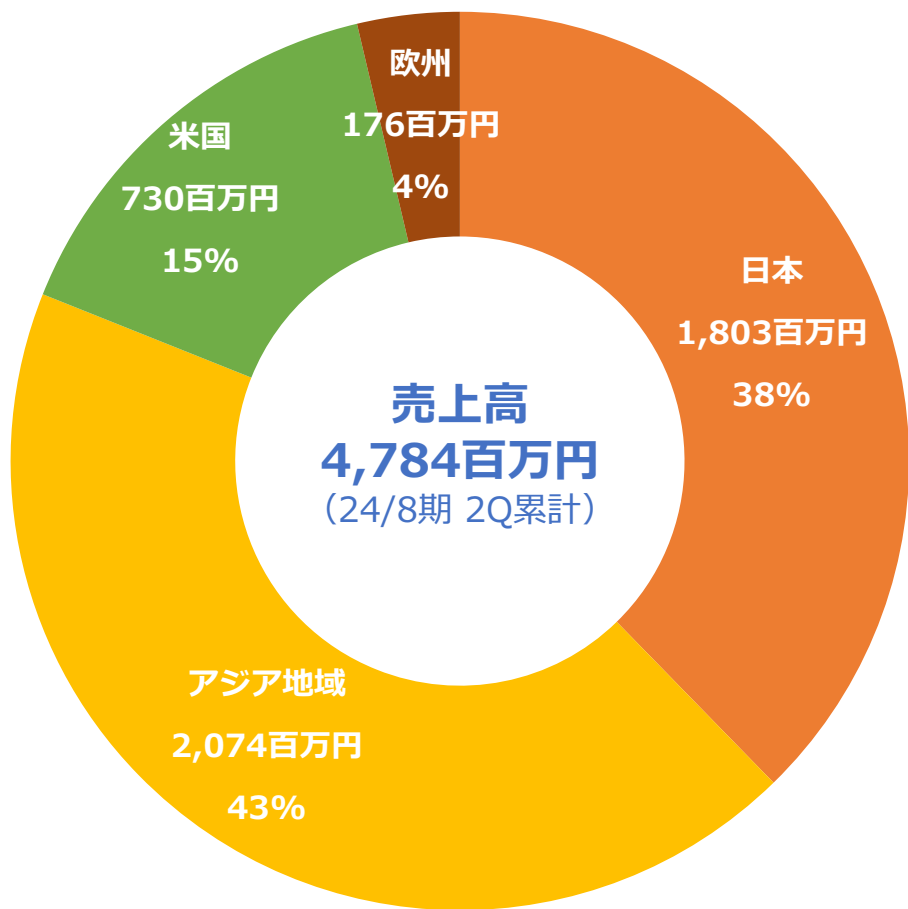


(単位：百万円)		23/8期 2Q累計	24/8期 2Q累計	前年同期比 (増減率)
半導体・液晶 関連事業	売上高	5,418	4,465	▲953 (▲17.6%)
	営業利益	885	371	▲514 (▲58.1%)
研究機関・大学関 連事業	売上高	449	319	▲130 (▲28.9%)
	営業利益	25	▲47	-
連結 損益計算書 計上額	売上高	5,867	4,784	▲1,083 (▲18.5%)
	営業利益	939	359	▲580 (▲61.8%)

※各セグメントの営業利益は、セグメント間取引を含む

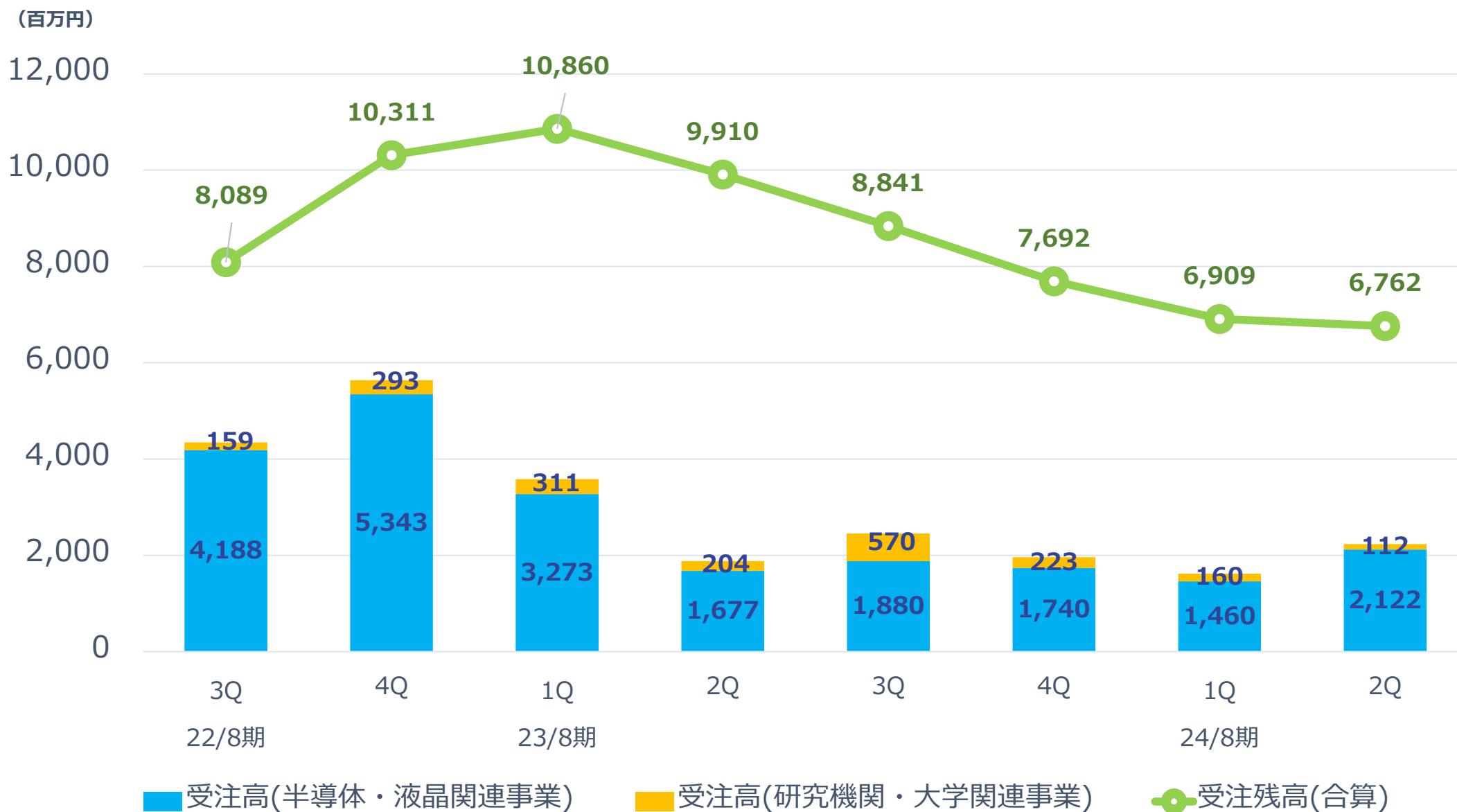
# 連結地域別売上高

## 地域別売上高



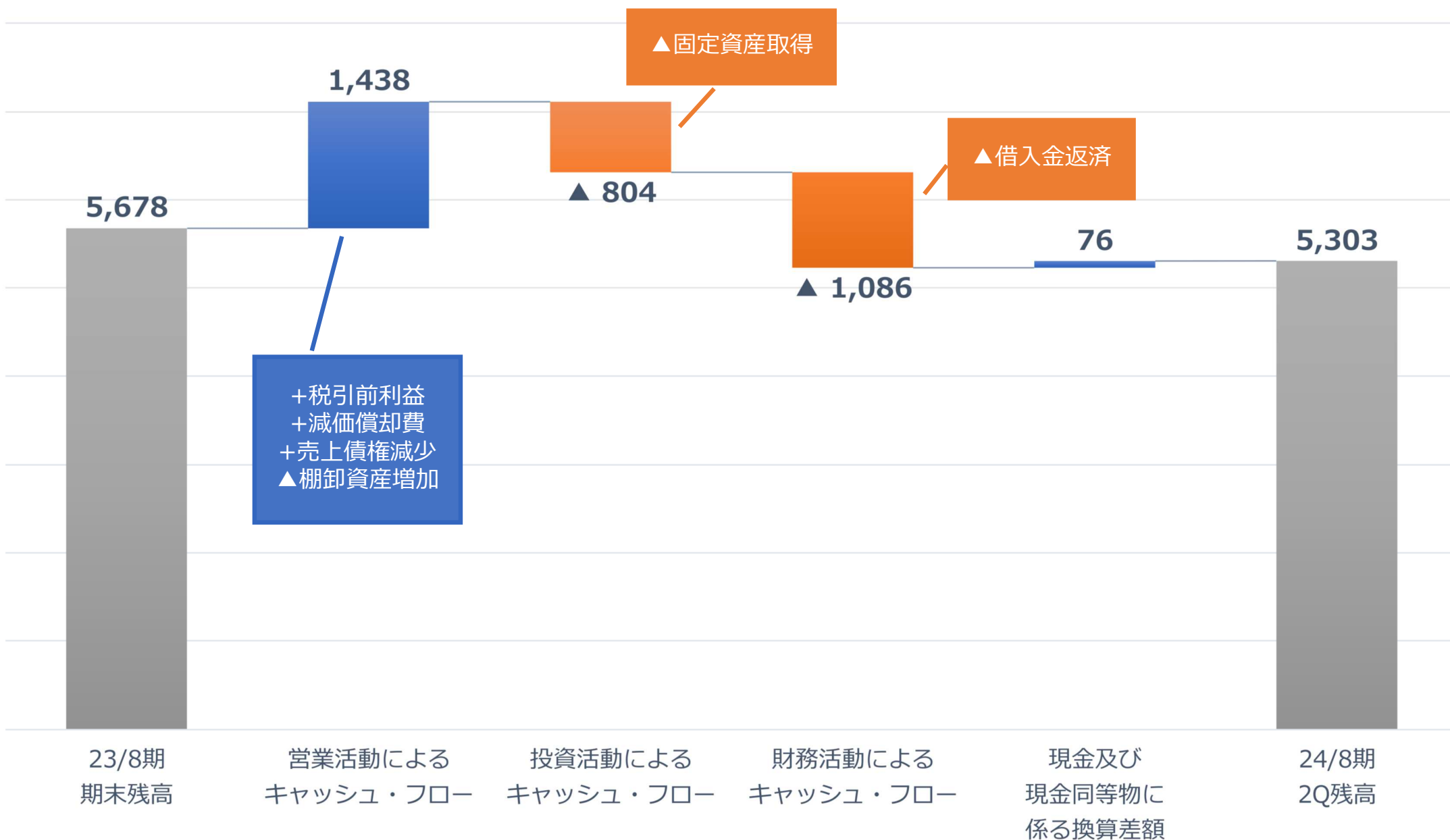
(単位：百万円)	24/8期 2Q累計	セグメント別内訳	
		半導体・液晶関連 事業	研究機関・大学関 連事業
■ 日本	1,803	1,484	319
■ アジア地域	2,074	2,074	-
■ 米国	730	730	-
■ 欧州	176	176	-
合計	4,784	4,465	319

# セグメント別受注高・受注残高推移

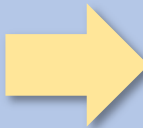







# 連結キャッシュ・フロー



# 2024年8月期 連結業績予想

業界		2024年 (1月~6月)	2024年 (7月~12月)	2025年 (1月~6月)	内容
半導体	メモリ 				データセンタ・生成AI向けDRAMがメインとなり、メモリ価格下落が収まりを見せているが、スマホ・PC需要は本回復とは言えない状況。24年度後半からNANDを含め、メモリ全体が回復傾向に向かい、25年度は韓国・アメリカ・日本などが、本格的に回復基調に向かう。
	ロジック 				先端・レガシー向けロジックに関しては中国市場で需要拡大しているが、最先端向けは設備投資がシフトしている状況。25年度前半から各社設備投資開始を行う予定であり、需要は回復していく方向。
	イメージセンサ 				スマホ・PC・タブレットなどの需要低迷が続いているが、AR・VR向け需要、EV向け需要は今後増加していく傾向。引き続き日本などのメーカーの設備投資は行われる予定であり、25年度前半から回復傾向。
	車載半導体 				世界的なEVシフトもあり、パワー半導体需要は拡大傾向にあり世界各社設備投資を今後も継続している状況。25年度以降は半導体全体の回復もあり需要が増える傾向。
光学系	スパッタ・蒸着 (有機EL・FPD含む) 				スマホ・カメラ市場向けの蒸着用装置メーカーが現状在庫調整を継続している為、低迷。24年度末まで調整段階。スパッタ装置に関しては新製品に向けての設備投資が始まっており、24年度後半に向けて需要拡大を見込む。

# 連結業績予想

(単位：百万円)	23/8期 実績	24/8期 予想	増減 (増減率)	備考
売上高	12,498	10,800	▲1,698 (▲13.6%)	<p><b>【半導体・液晶関連】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▲ 現状、世界情勢(ロシア・ウクライナ、イスラエル・パレスチナ、円安、物価高等)や、半導体業界動向(需要、中国貿易規制等)が不透明であり、半導体市況は回復傾向ではあるものの、装置メーカーの在庫調整が続いている状況。半導体メーカーの設備投資に関しても当初予定からシフトしており、本格的な回復は2025年からと予測する。</li> <li>▲ 世界中の半導体・光学関連からの新規開発案件は引き続き増加傾向にあり、現状・今後の対応面を考え、人材確保による人件費・設計キャパ拡大による研究開発費の増加を見込む。</li> <li>▲ ベトナム第2工場・佐野パーツセンターの稼働に伴う減価償却費・諸費用増加を見込むも、半導体市場回復遅れもあり、稼働率が上がらず売上・利益とも前期を下回る予定。</li> </ul> <p><b>【研究機関・大学関連】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 続官新民</li> <li>● ADTECグループにて展示会出展。世界全体の民間企業へIDX製品の販売促進・受注獲得強化。</li> <li>● 民間向け直流電源(バイポーラ含む)・マイクロ波電源の開発・量産体制の構築。</li> </ul> <p><b>◀今後の取組▶</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 半導体関連の需要に向けての主な部材は確保している為、2025年以降の急速な回復に向けて短納期対応可能。</li> <li>● 増加する新規装置案件対応に向けての設計キャパ拡大。</li> <li>● 多様化する半導体製造装置向け「高速RF制御システム Mark5」の拡販。</li> <li>● 世界初技術による新製品「電子マッチングユニット」の拡販。</li> <li>● リモートプラズマ用「マイクロ波システム」の拡販。</li> <li>● 世界の展示会出展。新製品PR活動強化。</li> <li>● 今後の需要拡大に向けて、ベトナム第2工場増産準備。</li> </ul>
営業利益	2,247	1,100	▲1,147 (▲51.0%)	
経常利益	2,293	1,000	▲1,293 (▲56.4%)	
親会社株主に 帰属する 当期純利益	1,678	690	▲988 (▲58.9%)	
1株当たり配当金 (年間) (円)	20	20	0	

# 連結売上高・営業利益の推移（通期）



# トピックス

9月

SEMICON Taiwan  
China International Optoelectronic Exposition (CIOE2023)

11月

Medica 2023 in Germany  
Advanced Engineering UK 2023

12月

SEMICON Japan

1月

オートモーティブワールド

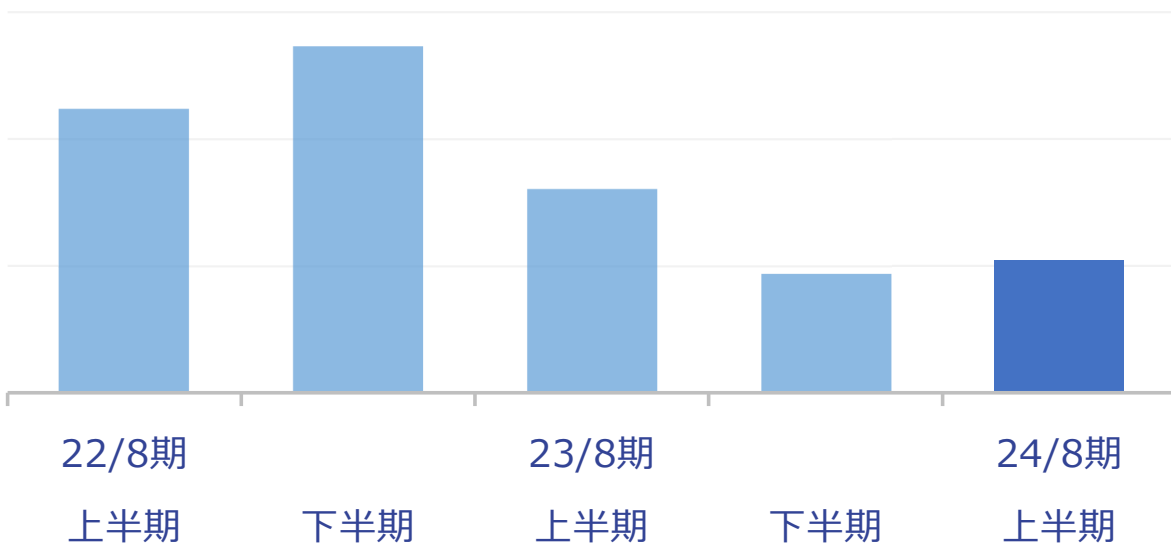
2月

SEMICON Korea

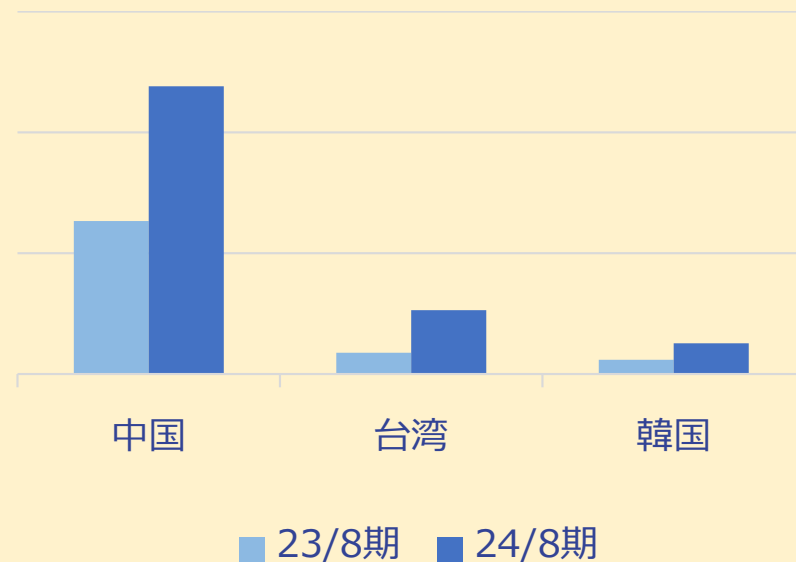


■ 受注高・・・単体ベース

## 受注高の半期推移



## 中国・台湾・韓国 地域別受注高（上半期）



## 受注高の月別推移



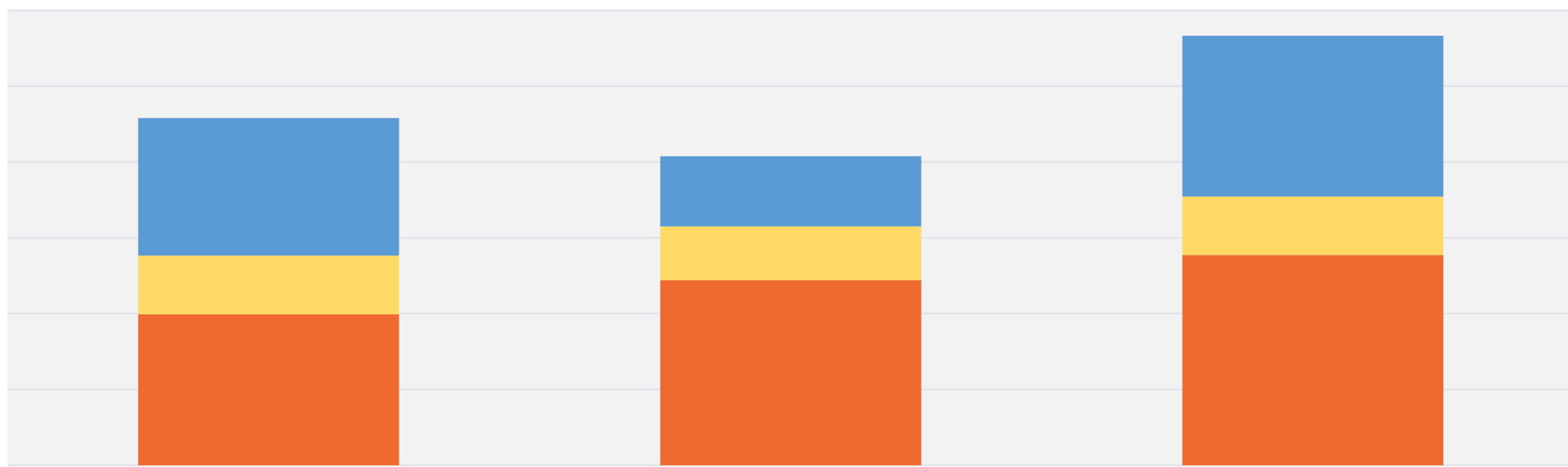


# 半導体事業 地域別売上高

- 地域・・・中国・台湾・韓国
- 売上高・・・単体ベース

(百万円)

1,200  
1,000  
800  
600  
400  
200  
0



	22/8期 2Q累計	23/8期 2Q累計	24/8期 2Q累計
中国	398	488	555
台湾	155	142	154
韓国	363	185	424

## 生産能力状況 (2024年2月単月)

### グループ生産実績

ベトナム：388台 韓国：89台 佐野他：27台 計504台

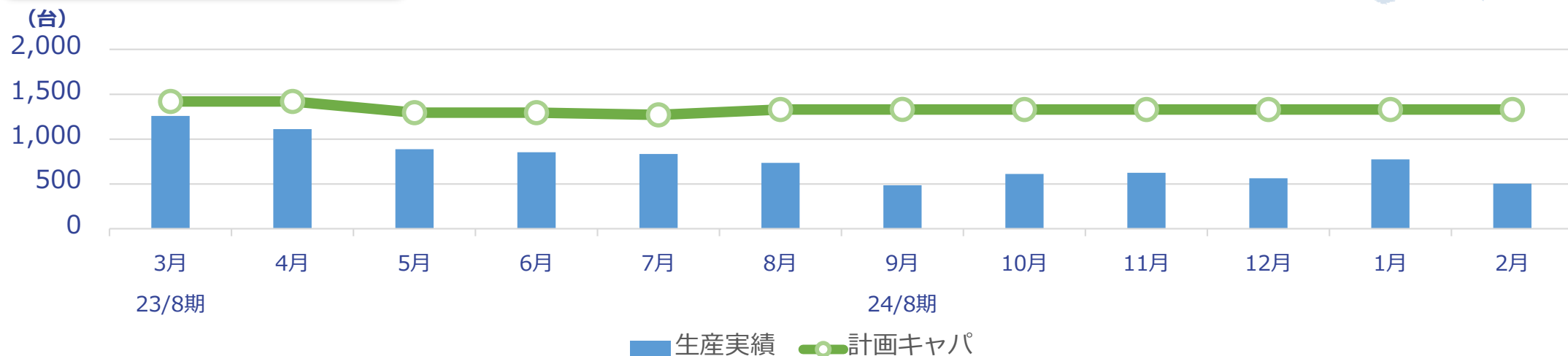
### グループ最大生産能力

ベトナム：950台 韓国：150台 佐野他：230台 計1,330台

### 生産環境

低調な状況が続く受注環境に伴い、実績及び生産最大能力も低調に推移。  
今後の半導体市場成長に対応する為、引き続き生産体制増強の環境整備に取り組む。

## 生産台数の推移



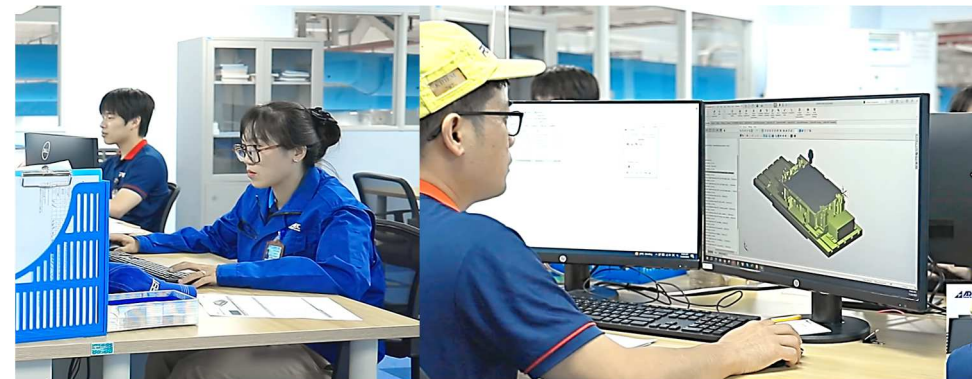
## ベトナム第2工場の稼働状況

### 板金加工内製化



外注していた板金加工業務の一部内製化に向けて体制を整備。納期短縮、コスト削減を見込む。

### 新部門設立



ベトナム国内への主要半導体関連企業の進出を受け、設計及びサービス部門を新設。

# 製品ラインナップ充実の取組

RFG	TXH AVL AVS	60MHz 3000W	量産機 開発中	MU	新 AVM	13.56MHz 1000W	開発中	直流電源	バイポーラ 電源	1000V25A 10kW	開発中
	新 TSX	13.56MHz 5000W	評価中			13.56MHz 3000W	開発中			1000V50A 20kW	開発中
	新 AVL AVS	13.56MHz 5000W	評価中		新 電子MU	13.56MHz 150W	開発中			1000V75A 30kW	開発中
計測器	新 ADS	13.56MHz 5000W	開発中	新製品	プラズマ タクト	PLT-200	開発中		ソース DC3A	1500V 3A 1500V 0.5A 5300W	評価中
	新 ADM	13.56MHz	開発中		AWポット		評価中				

## 新シリーズの概要

RFG	新AVL : 高速制御電源 Mark5	MU	新AVM : 高速制御電源用 Mark5	計測器	新ADS : 50Ω方向性結合器
	新TSX : 高効率電源		新電子MU : 電子マッチャー		新ADM : 非50Ωインピーダンスセンサ

■ RFG=高周波電源 ■ MU = マッチングユニット

## より多様化する半導体製造プロセスを支える技術 フルデジタルによる高速制御化を実現

半導体製造プロセスの多様化を見据え、より高精度なエッチングや成膜を実現できる、高速制御が可能なシステムをリリース

### 「高速RF制御システム」の特徴

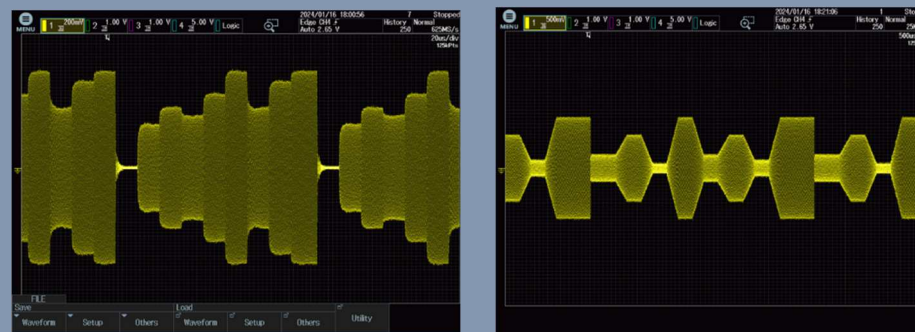
#### ①業界最速レベルの電力制御頻度

- ◆従来機に比べ電力制御が1000倍以上高速化
- ◆ユーザーオリジナルパターン波形も高精細に制御可能

#### ②主要機能を同時搭載したオールインワンモデル

- ◆連続出力
- ◆微細化などに求められるパルス出力
- ◆周波数のチューニング
- ◆チャンバー内の部材を破壊するアーク放電の抑制
- ◆デューティー比を広範囲で可変

【「高速RF制御システム」による出力波形】



フルデジタル高速制御により複雑かつ多彩な出力が可能

## 環境

働きやすい職場環境づくりを目指す、新たな制服の導入

- 第40期を迎え、次世代に向けたシンボルとして新ユニフォームを導入。
- 従業員の働きやすさを向上させるため、収納性、快適性、安全性、機能性を充実。

環境配慮による旧制服の再資源化

- 使用後のユニフォームは全て回収し、再資源化に取り組む。



## 社会

地域社会の発展に貢献

ものづくりの将来を担う人材育成に向けた地域活動「WAZA-One GP」※に設立協賛

- 日時：2024年6月22日（土）
- 場所：広島県福山市「エフコピアリーナ福山」

※「WAZA-One GP」

備後地域のものづくり技術系の企業が中心となり、紙ヒコーキ、ベーゴマ、めんこ、ビー玉、紙とんぼなど、昔ながらの遊びを競うイベント「子供の遊びのオリンピック」を開催

# ご参考資料

会社	株式会社アドテック プラズマ テクノロジー
設立年月日	1985年1月
所在地	広島県福山市引野町五丁目6番10号
決算期	8月
資本金	835百万円（2024年2月末）
代表者	代表取締役社長 森下 秀法
従業員数	連結：470名（2024年2月末） 単体：170名
セグメント	半導体・液晶関連事業 研究機関・大学関連事業
連結子会社	Adtec Technology, Inc.(米国) Adtec Europe Limited(英国) 株式会社IDX(栃木) ADTEC Plasma Technology Vietnam Co., Ltd.(ベトナム) ADTEC Plasma Technology Korea Co.,Ltd.(韓国) ADTEC Plasma Technology Taiwan Ltd. (台湾) ADTEC Plasma Technology China Ltd.(中国) Adtec Healthcare Limited(英国)



## 半導体・液晶関連

半導体製造装置内でプラズマを発生させる高周波電源を主力製品とした関連製品の設計、製造、販売、サービスの提供

### ユーザー

- 半導体製造装置メーカー
- 光学機器メーカー etc.

### 主力製品

- 高周波電源 (RFG)
- マッチングユニット (MU)
- 計測機器

### 会社名

株式会社アドテックプラズマテクノロジー  
Adtec Technology, Inc.  
Adtec Europe Limited  
ADTEC Plasma Technology Vietnam Co., Ltd.  
ADTEC Plasma Technology Korea Co., Ltd.  
ADTEC Plasma Technology Taiwan Ltd.  
ADTEC Plasma Technology China Ltd.  
Adtec Healthcare Limited

## 研究機関・大学関連

医療現場、国の研究機関等において使用される、治療装置や実験施設等の電源装置の設計、製造、販売  
半導体・光学分野向け製品の開発

### ユーザー

- 国の研究機関
- 大学及び大学病院
- 一般産業 etc.

### 主力製品

- 粒子加速器電磁石励磁用電源
- 直流電源
- マイクロ波応用機器
- 高電圧電源

### 会社名

株式会社IDX

## アドテックグループの強み

### ▶顧客目線のきめ細かい技術サービス対応

日々進化する半導体製造装置に求められる高周波電源の開発の対応力  
電源専門メーカーとして高度化する顧客開発ニーズへ柔軟に対応できる

### ▶電源に特化した経営を行う事により、電源開発に注力でき、市場を取り込む等の意思決定が早い

周波数の安定性を重視した、高耐久性の製品開発力  
高周波電源の他、小型DC電源から大型キッカー電源、マイクロ波製品など多くのバリエーションを扱える

## RFG・MUの使用工程例

(シリコンウエハー上に作られるICチップの前工程)

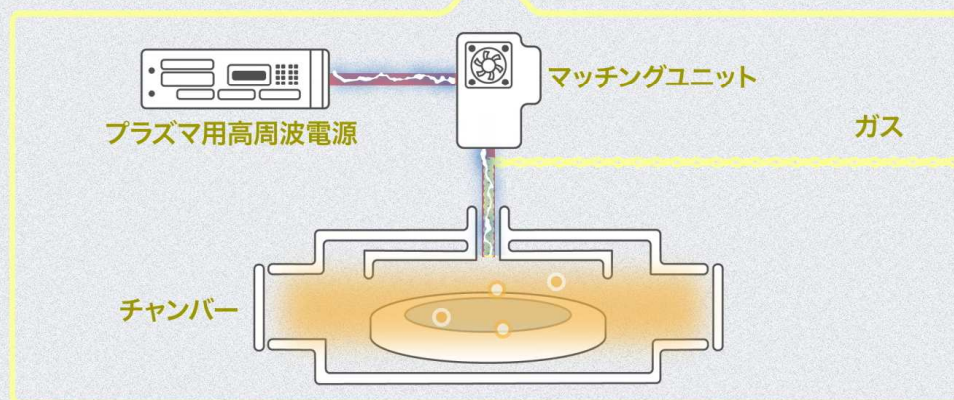


安定性  
Stability



耐久性  
Durability

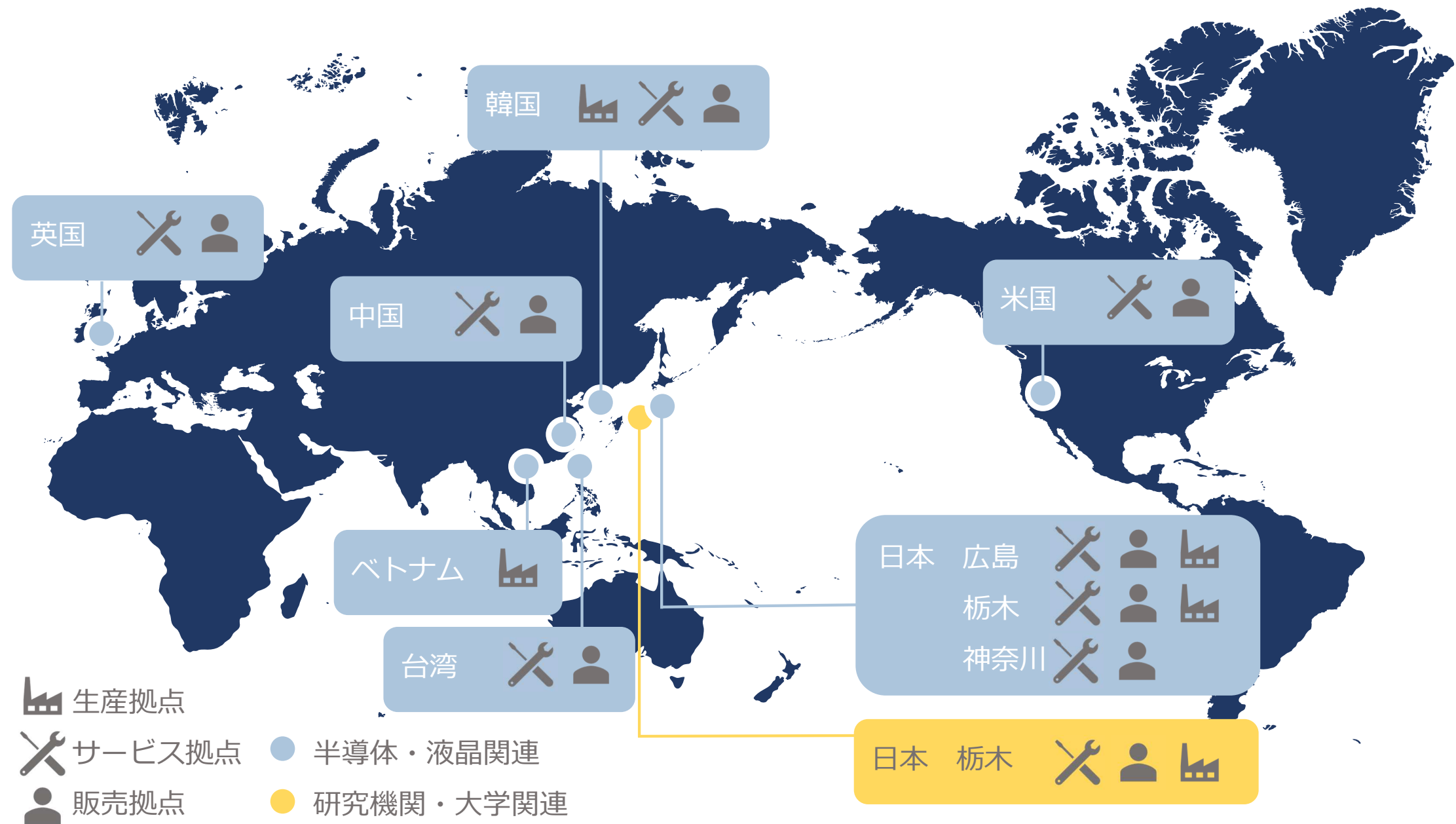
ドライプラズマ  
プロセス



- プラズマ高周波電源 = RFG
- マッチングユニット = MU

求められるのは  
**安定性と耐久性**  
に優れた  
高性能な高周波電源

ICチップの性能を左右する重要なプロセスでは、  
チャンバー内を常に**安定したプラズマ状態**にする必要がある



# ご清聴ありがとうございました。

■ 将来見通しに係る記述についての注意事項

本資料に記載した業績予想等の将来に関する記述は、現時点で得られた情報に基づいて当社が判断したものであり、様々な不確定要因を含んでおります。

従いまして、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があります。